

である。

本クラブでは独自に、豊島区立西巣鴨中学校が実践している「南大塚バラロード」見守り隊の環境教育への活動に協力することとなった。豊島区内の小・中学校では、SDGs教育が盛んに実践されている。6月9日(金)に、会長、幹事が学校へ訪問し、秋庭加恵手校長に目録を手渡した。「南大塚バラロード」の環境整備に活用される。



### 池袋RAC 2022年9月活動報告

会長 岩崎龍賀

9月第一例会 池袋献血例

9月3日(土) 10:00-16:00 池袋東口

■出席者数:名

(うち自クラブ会名出席、出席率%)

岩崎、神山、佐藤、山崎、豊澤、ハンドコ、平田

■例会内容

当例会では、日本赤十字社様ご協力のもと池袋東口すぐの中州にて献血バスを展開し、実施いたしました。

RACからはGoogle Formによる事前受付および当日の呼び込みを行いました。呼び込みとしてはRACメンバーが中心となりボランティアサイトActivoに募集を掲示し、応募のあった方にも手伝っていただきました。

呼び込み個所は献血バス前とヤマダデンキLABIのあたり、三井住友銀行下のあたりの計3か所で行いました。

献血実績としては受付数60名、献血実施者数51名とノルマの50名を無事に達成いたしました。



9月第二例会 池袋×東江戸川 動画合同例会 Vol.1

9月24日(土) 14:00-16:00 現地開催

■出席者数:20名

(うち自クラブ会員10名出席、出席率45%)

岩崎、春木、神山、山崎、豊澤、佐野、阪田、豊澤、下間、孫

■例会内容

例会では、NPO法人green bird様と合同で池袋にて清掃活動をいたしました。池袋駅周辺を中心に、東池袋中央公園付近を2チームに分かれての清掃となりました。コロナ禍によって、特に路上にて喫煙・飲食・飲酒をされる方が増えておりましたので、1時間程度の短い時間ではありましたが、今年も大量に捨てられていたゴミ、空き缶空き瓶ペットボトルなどを回収しました。



9第三例会 豊島今昔物語例会

9月29日(土) 20:00-21:30 現地開催

■出席者数:8名

(うち自クラブ会6名出席、出席率29%) 岩崎、春木、神山、山崎、下間、于

■例会内容

専門能力開発委員会が中心となり、豊島区についての知識を深めるための第一弾として、豊島区の歴史を学ぶ例会を企画しました。完全オンラインの例会は久しぶりでしたが、現地の参加が難しいメンバーも参加してくれました。豊島氏、太田道灌、扇谷上杉氏や後北条氏など戦国時代、明治維新後の東京が23区になる前についての話など、少しニッチな歴史について、専門能力開発委員の山崎が卓話しました。より豊島区について知れるだけでなく、当たり前となっている既存の価値観が必ずしも連綿と続いているわけではないことを知れ、更に一層豊島区について知りたいとクラブ会員が思えるような例会となりました。

(報告者:山崎)

Rotary 東京池袋豊島東ロータリークラブ

3010回 第34回例会 2023.6/15

Rotary Club of Tokyo Ikebukuro Toshima-East

Weekly Report

会長:小泉博明 幹事:石川宜司 RI会長:ジェニファーE.ジョーンズ 第2580地区ガバナー:嶋村文男

RI2022-2023年度テーマ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実か どうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるか どうか

禅語

千里同風(せんりどうふう)

どんなに遠く離れていても、そこには同じ風が吹いている。この空は、どこまでも続き、遙か遠くの空の下に、同じ心を持った人がいる、という事です。離れていても「一筆啓上火の用心お仙泣かすな馬肥やせ」という短い手紙には、家族への情愛が込められています。

### 本日の例会

6月15日(木) 17:30~20:10  
チェンジオーバーナイト

### 次回の例会

7月6日(木) 12:30~13:30  
年度方針(会長・幹事・五大奉仕)

### 6月8日 例会報告

司会 浅原会員  
開会点鐘 小泉会長  
茶摘・ロータリーソング  
ソングリーダー 有我会員

|           |        |
|-----------|--------|
| ☆会員総数     | 35名    |
| ☆出席規定適用者数 | 26名    |
| ★本日の出席者総数 | 22名    |
| ★" 免除者出席数 | 4名     |
| ★本日の出席率   | 73.33% |

☆本日のゲスト

須藤 和由氏(ガバナー補佐/東京池袋西RC)  
高安 健将氏(卓話者/早稲田大学教育・総合科学学術院教授)



6/8 例会

高木 義男氏（新入会員候補者／合同会社アダム医健）

## ニコニコ

- 鈴木君 高安先生 卓話ありがとうございました。奥様のフルートを聞きそびれて申し訳ない。須藤AGご苦労かけました。
- 野口君 本日卓話の高安健将様ようこそおこし下さいました。ありがとうございます。我が母校中央大学は4月より法学部が茗荷谷キャンパスへ6,000名が移って来ます。私も大学評議員として母校の為と後輩の為に努力いたしております。RC同様中央大学も宜しく。須藤さんオーストラリア国際大会のガバナーナイトすばらしかった。
- 吉田君 ニコニコが少ないとの報告をなされた野口委員長が私の目の前に居られますので、ニコニコを致します。

本日の合計額：15,000円  
今年度ニコニコ累計額：687,725円

## 会長報告

第33回（2023.6.8）

赤貧に悩み苦しんだ歌人の石川啄木には、次のような歌がある。

一つは、「はたらけど はたらけど 猶わが生活 楽にならざる ちっと手を見る」（『一握の砂』）である。世間に認められたいという強い思いがありながら、思うようにはいかない。そして、率直に生活苦を歌った素朴な心情をこの歌に吐露している。

一つは、「こころよく 我にはたらく 仕事あれ それを仕遂げて 死なむと思ふ」（『一握の砂』）である。この歌は、啄木は26歳の若さで没しているが、その2年前のものである。このように自らに適した仕事に就き、何かを成し遂げれば仕合せだと言う。人はこの世に生を享けたからには、その証として何かを成し遂げたいと思うであろう。それは、特段に大きなことを成し遂げるのではなく、今ここに自分が働く場所で、充実感を持って働いていれば、十分に心は満足されものであろう。

啄木の歌を通じて、「はたらく」とは何かについて考える機会となる。

## 幹事報告

- 6月15日(休)最終夜間例会への出欠ご回答は10日(出)となっております。まだご回答をされていらっしゃらない方は、事務局までご連絡をお願い致します。尚、登録料につきまして昨日ご案内を送付致しましたので、ご確認をよろしくお願い致します。
- イサベラさん帰国につきましてお見送りをご希望の方は 6月20日火曜日17時 UA78便 成田空港待ち合わせは14時（予定）成田空港第1ターミナル南ウィング4階Eカウンターまで集合をお願い致します。
- 東京板橋ロータリークラブ デジター受入れ及びメーキャップデスク再開のお知らせ
- 例会後、臨時理事会を開催いたしますので理の皆様は、お残り下さい。

## 6月8日 卓話報告

卓話者 高安 健将氏

私は、1997年から1998年にかけてロータリー財団国際親善奨学生として留学させて頂きました。留学先は、当時ロンドン大学の一つに数えられたLondon School of Economics and Political Scienceでした。日本側で送り出してくださったカウンセラー（相談役）は鈴木孝雄・元ガバナーであり、英国側で受け入れて下さったのはバターパーク・ロータリークラブのジョン・ジョンソンさんでした。

今回の卓話では、英国留学時代にロータリークラブとの関わりがいかに関自身の英国理解に結びついたのかをお話しさせて頂きました。ロンドンでは、ロータリークラブを通して、大学の研究者に限定されない多様な人びとと知り合う機会を得ることができました。さらには、研究そのものの推進にも大変に有難いネットワークへの道を開いてくれました。それがエドワード・ヒース元首相とのインタビューにつながりました。

卓話の後半では、今日の英国が直面している政治問題を取り上げました。私の留学は王室の出来

事とさまざまな偶然のつながりをもっていました。また、緊縮財政と英国社会の変化、そしてBrexitが生み出した政治・社会問題についてもお話をさせて頂きました。英国の政治は安定と知恵で知られていましたが、2022年の英国はそれとは異なる姿をみせています。日本は英国をモデルとすることができるのか。それとも英国は日本の反面教師なのか。他者を知ることで自らを知る学問、それが比較政治学となります。英国から何を学ぶのか、考えることができるのか、その一端をご紹介します。

|   |  |
|---|--|
| <p>(元) 国際親善奨学生からみた英国と日本</p> <p>高安 健将<br/>1997年8月ロンドン大学国際親善奨学生<br/>早稲田大学教育・総合科学学術院教授<br/>2023年6月8日</p>   | <p>首相研究一接点領域の分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■閣内閣の領域—政治学と行政学の境界で党首としての首相—政党研究=政治学</li> <li>行政官としての首相—内閣制度・官僚制研究=行政学</li> <li>■閣内閣と国際政治の接点領域</li> <li>国際社会に影響を及ぼす国内政治</li> <li>国際社会に影響を及ぼす国内政治</li> <li>→閣内閣の領域に主軸的に関わる首相</li> <li>→1970年代石油危機への対応を題材に</li> <li>■閣内閣の領域の日本比較研究</li> </ul>                   |
| <p>対照的な日本と英国の首相</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■大学に入学した1990年</li> <li>マーガレット・サッチャー首相と海部俊樹首相</li> <li>海部首相の「重大な決断」？—衆議院の解散？内閣総辞職で。</li> <li>■英国に留学した1997年</li> <li>■閣内閣の領域とトニー・ブレア首相</li> <li>1998年参事院議員「やめろというからやめろのさ」</li> <li>→首相に対する批判は官報以上に<b>激甚</b>（<b>凶悪</b>）では？</li> </ul>   | <p>英国へ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■比較政治学</li> <li>→他者を知ることで</li> <li>己を知る学問分野</li> <li>■英国との比較、英国への留学</li> <li>→日本を知るために</li> <li>■London School of Economics and Political Science</li> <li>政治学は世界ランキング4位（2023年）</li> <li>■学位取得時（2003年）の学長は、アンソニー・ギデンズ</li> </ul>                                       |
| <p>ロータリー財団からのご支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■奨学金・相談役・ネットワーク</li> <li>■必ずしも希望通りにはならない留学先</li> <li>■キャリアシフトの機会</li> <li>■山崎正和元会長から鈴木孝雄元ガバナーへのご縁</li> <li>■高安の懇話（高安正明元会長）</li> <li>■2580地区からの国際親善奨学生11名</li> <li>吉田純子早稲田大学教授（英文学）</li> <li>鈴木優子早稲田大学教授（国際社会学）</li> </ul>   | <p>Battersea Park Rotary Club</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ロンドンの「最も活発なクラブ」？</li> <li>■警察官、「着脱しない」軍人、モンテネグロ危機調停員、日本生まれの医者、区議会議員、市議会議員、作家、参事院議員、「アドナチン会った」政治家、外交官、国會議員、議員、Cityの銀行員、etc.</li> <li>■2度目のロンドン滞在時は外交官や記者、記者との交流が主。</li> <li>■エドワード・ヒース元首相とのインタビューにつながった出会い、Caroline Bowisさんは地元前議員の妻。</li> </ul> |
| <p>エドワード・ヒース元首相への扉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■石油危機時の英国の首相（1970-1974）</li> <li>■開いた政壇幹部の扉</li> <li>■キャロリン・ケネディ</li> <li>■ウォーカー貿易産業相</li> <li>■ジェンキン、エネルギー担当相</li> <li>■ハント内閣官房長</li> <li>■アレン元副首相官房長官</li> <li>■パリサイ外務省事務次官</li> <li>■など。</li> </ul>  | <p>Reform Club会員にも</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■1932年の大選挙後連立で選挙権拡大を主張した自由主義者や英米のクラブとして誕生</li> </ul>   |
| <p>John Johnsonさん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ロンドン警視庁警務長</li> <li>■警察官を2度受賞</li> <li>■メックスフォード大学卒業</li> <li>■ワイン専攻</li> <li>■美術と歴史の人</li> </ul>   | <p>ロータリー会員が誘ってくれた王室行事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■バッキンガム宮殿でのエリザベス女王王冠・ガーデン・パーティー</li> <li>■ウィンザー城でのガーター・セレモニー</li> <li>■ガーター勲章は英国最古にして最も高位の勲章</li> </ul>   |
| <p>王室の主役たち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■1997年、ダイアナ妃の死、葬られる王室</li> <li>■ウィリアム皇太子、ケンブリッジ侯爵からウェールズ公へ</li> <li>■不人気のチャールズ皇太子、職権保護、伝統的建築物愛好家(Defender of Old Faith) (ロンドン)の地位の確立</li> <li>■人望のQueen Elizabeth the Queen Mother 1900-2002 儀礼界</li> <li>■キャットー元首相は儀礼界</li> <li>■エリザベス2世死去 1965年以後の国葬</li> <li>■エリザベスとウィリアムをつなぐチャールズ</li> <li>■継承順位の変更 →男子優先廃止(2011.10.28生まれ以降)</li> </ul> | <p>Brexit前からの分断、Brexitが生み出した分断</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■成長と再分配を目指すブレア労働党政権</li> <li>→「グローバル化に置いていかれた」人びと</li> <li>→移民、工業地帯</li> <li>■移民を歓迎した労働党政権</li> <li>→成長と多様性</li> <li>2004年 EUの第5次拡大 2007年 第6次拡大</li> <li>■難民「難民に寛容であれ」</li> <li>→難民や社会保障などの公的資源を奪われる不満と不安</li> </ul>                           |

|  |   |
|--|---|
| <p>緊縮財政の英国</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■リーマン・ショック後の2009年から、</li> <li>■2010年の政権交代以降、緊縮財政は本格化—必要？イデオロギー？</li> <li>■公共サービス削減、公共投資の削減</li> <li>■規制緩和に伴う雇用環境の悪化</li> <li>→成功しないトリクル・ダウン</li> <li>■成長率、長期債務の増大、劣化する「仕事」</li> <li>■キャットー(英内閣閣員 2010-2016)</li> <li>→グローバル化、反EUの機上、親中派</li> <li>→社会的リベラリズム: 同性婚容認、都市の生活様式、高学歴幹部</li> <li>→経済的不満・不安=文化論</li> </ul> | <p>国民投票運動とポピュリズム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■2016年 英国の国民投票</li> <li>「連合王国は、欧州連合の一員として留まるべきか、それとも欧州連合から離脱するべきか」</li> <li>■賛同文、運動団体、資金、事前の運動について慎重な取り決め</li> <li>■Post Truthの時代—繰り返される嘘</li> <li>■Social Media/SNSを活用（悪用？）した離脱派</li> <li>■魅力化する英国の政治</li> <li>→議員利権、女性・マイノリティへの移行、Brexitに否定的な運動を許さない人びと、沈黙する専門家、Project Fear</li> </ul> |
| <p>次々と交代する英国の首相</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■嘘でクビになったジョンソン首相</li> <li>→保守党による不信任</li> <li>■投票を促さないトラス首相</li> <li>→保守党で分裂した大英連邦—市場の距離</li> <li>■地位不安定なスナク首相</li> <li>-財政再建</li> <li>-労働党と公共セクターの資金問題</li> <li>-伝統的でない保守党内、イデオロギー化する保守党内</li> <li>-Global Britain? →パートナーはどこに? →日本のチャンスとリスク</li> <li>○近づく政壇交代</li> </ul>                                    | <p>単著</p>    |
| <p>英国は日本の参考になるか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■みたいのだけを見る政治</li> <li>■政治家の嘘を容認する</li> <li>■Post Truth</li> <li>■危機を煽る政治、</li> <li>危機を直視しない政治、</li> <li>■未来を見えない政治、</li> <li>異国運の政治</li> </ul>  | <p>ありがとうございました！</p>   |

## 臨時理事会報告

日時 令和5年6月8日(休) 13:40~14:00  
場所 ホテルメトロポリタン3F「光」

出席者 小泉会長、佐藤（久）副会長、石川幹事、稲川委員長、長尾委員長、廣内委員長、加古委員長、佐藤（美）委員長、山本前会長、鈴木会計

議題

報告事項

- 日台ロータリー親善会議本会議が10月20日に決定。会員に案内を出す。

審議事項

- 新入会員候補の件  
米山慶一氏入会手続きについて了承—公示手続きに
- 王久仁子会員退会について  
6月末退会届が受理された
- 東京目白ロータリークラブチャーターナイトの件  
会員全員に案内はするが、出席は本人の意志に任せる  
クラブとしては出席しない

## 公共イメージ委員会報告

公共イメージ委員会「南大塚バラロード」見守り隊へ

2580地区のアースデーの企画は「ぶっく・デ・アース」であり、各クラブで古本を回収し、その利益で苗木を購入し、各クラブで植樹をするもの